認定ＮＰＯ法人　さいたまユネスコ協会　機関誌
2012年4月1日　発行

ナマステ

第11号

ナマステとは「おはよう　こんにちは　こんばんは」の共通あいさつ

2011年

ネパールへの教育支援活動

報告

山間部の僻地を中心に新校舎（６棟）の建設支援と870人の生徒への学費支援

日本から３日かけて到着する山奥の学校。愛くるしい笑顔の子供たち。裸足の子が多い。（2011年11月13日 撮影　ゴラクナート初等中学校の小学生）

ネパール訪問概要

	第20回ネパール訪問	第21回ネパール訪問
出国日～帰国	2011年４月29日～５月16日	2011年11月７日～17日
参加者	・当協会の会長	・当協会の会長 ・深谷市内のロータリークラブ会員　４名
奨学支援金の贈呈式		・11月８日　カトマンズ近郊の４校を対象 ・11月12日　パルパ県の39校を対象
建設支援校訪問	４校（４校とも新校舎引渡式）	３校（うち２校は新校舎引渡式）
奨学支援校訪問		１校（５人の奨学生の自宅訪問）
調査訪問	６校	３校

【調査訪問】2011年5月12日
山奥の学校へ向かう当協会の本多会長（先頭）
道というよりは崖崩れの中に足場を見つけて歩いています。

【調査訪問】2011年5月12日　幼少部の生徒たち
床に直接ノートを広げたり、膝のうえに置いたりして勉強。

【新校舎引渡式】2011年5月9日　バルピカス小学校
寄附者：所沢西ロータリークラブ
低学年の生徒による祝賀の踊りを楽しむ式典参加者たち。

【新校舎の引渡式】2011年5月10日　バサンタ初等中学校
寄附者：国際ロータリー第2570地区
軍隊仕込みの様な、きびきびとした動作で徒手体操を見せてくれた生徒達。この学校の教育の熱心さがうかがわれます。

建設支援した “新校舎の引渡式”

バガワティ初等中学校

引渡式日
2011年11月10日

1棟**2教室の増築**　総額 207万円
（日本の寄附者150万円＋現地の自助努力57万円）

寄附者：司法書士法人　新宿事務所（所長 阿部 亮氏）

新校舎前で、式典参加した人達と。

記念プレートの除幕をする当協会の会長。

アルニコ初等中学校

引渡式日
2011年11月11日

1棟2階建**4教室の増築**　総額414万円
（日本の寄附者246万円＋現地の自助努力168万円）

寄附者：深谷市内のロータリークラブ　＊RC：ロータリークラブの略称
深谷RC・深谷東RC・深谷ノースRC・岡部RC・川本RC

新校舎前で建設委員たちと。
当協会の会長・寄附者の有志4名・現地在住日本人協力者

大勢の村人も、祝賀の踊りを楽しみました。

奨学支援校の訪問　#40　ナワキラン小学校　2011年11月14日訪問

- 総生徒数：68名（当協会の奨学支援生は10名）
- 在学生　：幼児、１～５学年生
- 教師　　：政府派遣３名、村費雇用１名

下校直前に校庭で整列する生徒たち

校庭で、当協会の奨学

薪を集めて、自宅に戻ってきた支援生の女の子。左：自宅、奥：家畜小屋

土間には、飲み水を汲み置きする黒いタンクや金属製の水瓶が置かれています。

支援生5人の

電灯も無く小さな窓しかないので、昼間でも

自宅で会長を迎える支援生と父親、祖父母。

支援生10名、教職員と

素朴な人柄の校長

埼玉県立毛呂山高等学校のご寄附により、当協会で建設した校舎。
竣工から2年半経ち、壁にはボールの当った跡がいっぱいでした。

学校までの道程			
1日目	成田空港 10：45発	香港 乗換え	ネパール（カトマンズ泊） 22：10着（現地時刻）
2日目	カトマンズ 9：00発	バイラワ 飛行機30分	タンセン（泊） 普通車２時間
3日目	タンセン	ナワキラン小学校 ジープ１時間半	

の自宅を訪問

も自宅内は暗いままです。

支援生の家族と当協会の会長

室内の壁には一面に新聞紙が貼り付けられ、何枚もの洋服が壁に刺した釘にさげられています。
左手前は、ムシロを敷いたベッド

“被災地の学校に義援金”被災支援金20万円と文具を持参して

書き損じハガキで、ネパールに教育支援している中学校へ

岩手日報　2011年（平成23年）4月12日（火曜日）

教育支援が縁で久慈市に義援金

埼玉・ユネスコ協会

さいたま市の認定NPO法人さいたまユネスコ協会の本多隆会長らは11日、久慈市宇部町の三崎中（川村孝一校長、生徒48人）を訪れ、東日本大震災の義援金20万円を寄付した。

同校はネパールの恵まれない子どもたちの教育支援のため、同協会に書き損じはがきを送る活動をしてきた。久慈地域の被災を聞いた同協会が、会員有志らから義援金を募り、同校へ直接届けた。

贈呈式は同校体育館で行われ、本多会長が「被災の当事者でありながらネパールのためにはがきを送ってもらいありがたい」と感謝し、「これからも支援を続けてほしい」と活動の継続を期待した。

義援金を受け取った生徒会長の坂本千春さん（3年）は「学区内でも甚大な被害を受けた。地域の復興のために使いたい」と感謝した。義援金は地域の復興を願い、久慈市に送られた。

同校はこれまで2年間で約700枚の書き損じはがきを同協会に送っている。

三崎中へ義援金を送った本多隆会長（左）と、義援金を久慈市へ託す坂本千春さん（中央）

東日本大震災で壊滅状態の久慈市の沿岸部

ネパールの教育事情について講演

さいたまユネスコ協会の会長の説明を、生徒たちは熱心に聞き入っていました。

ネパールの子が１人でも多く学校に行けるように

三崎中学校から届いたハガキ

全校生徒48人の思いは、13,365円の募金額に

2011年４月１日、さいたまユネスコ協会に送られてきたハガキ。（297枚）
３月11日の大震災から一ヶ月も経たないにもかかわらず、ネパールの貧しい子供への支援を忘れずにいてくれたのです。
募金は、ネパールの生徒１人の奨学支援と学校建設募金に充てられました。

“ハガキでネパールに新校舎”

年度	ハガキ換金額(円)	建設した新校舎の数
2000	2,614,313	2
2001	2,745,332	2
2002	2,560,898	3
2003	2,649,157	2
2004	2,612,342	2
2005	3,847,740	3
2006	2,352,462	1
2007	2,105,023	1
2008	2,025,650	1
2009	1,913,043	1
2010	2,080,169	1
2011	2012年5月集計予定	
合計	27,506,129	19

＊各年度の新校舎の写真は、ホームページでご覧下さい。

さいたまユネスコ協会では、さいたま市内のロータリークラブと自治会のご協力を頂いて、書き損じハガキを集め、新校舎を建てています。

１枚のハガキに込められた市民の思いが
身近な国際支援となり
困っている人への大きな手助けとなっています。

ご協力頂いている
さいたま市内の自治会連合会

- 大宮区自治会連合会
- 西区自治会連合会
- 北区自治会連合会
- 見沼区自治会連合会

ご協力頂いている
ロータリークラブ

- 大宮RC
- 大宮西RC
- 大宮南RC
- 大宮東RC
- 大宮南東RC
- 大宮北東RC

＊RC：ロータリークラブの略称

自治会

ハガキ回収

→

ロータリークラブ

- ハガキ集荷･仕分け･切手に交換
- 切手の現金化

→

さいたまユネスコ協会

学校建設支援活動

→

ネパール

新校舎

2009年度のハガキにより

建設した新校舎

竹の教室（左）と泥壁の教室（右）の小学生の校舎。

コンクリートの丈夫な造り（４教室）に生まれ変わりました。

＊掲示の一例です

書き損じハガキ　集めて下さる協力者　募集しています。

個人・企業・団体・グループ等、どのような形態でも構いません。
50円ハガキ200枚で、1人の子供の一年間の学費援助ができます。
ポスター・ハガキ回収箱・パンフレット、　郵送でお届けします。

知ってますか？

NPOの種類

- NPO ……ボランティア活動などで社会貢献活動を行う営利を目的としない団体の総称。
- NPO法人 ……上記のNPOのうち法人格を取得し、所轄庁より認証された「特定非営利活動法人」の一般的総称
  全国で44,291団体。（2011年12月31日現在）
- 認定NPO法人 ……NPO法人のうち、さらに国税庁長官の認定を受けた「認定特定非営利活動法人」の一般的総称。
  全国で243団体（2012年1月16日現在）。　当協会は12番目に認定されました。

発行/認定NPO法人 さいたまユネスコ協会 〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2-320-70 TEL 048-647-2660 FAX 048-647-2645 http:/www.unesco.or.jp/saitama/　**発行人**/ 本多 隆